

**FREE THE  
CHILDREN**

# フリー・ザ・チルドレン・ジャパン 2015 年度年次報告書



**Free The Children Japan Annual report 2015**

フリー・ザ・チルドレン・ジャパンは、「子どもを助けられるのはおとなだけじゃない！」を理念に、日本の子どもや若者が国際協力活動に取り組み、開発途上国の支援を行っています。

## -Vision

### フリー・ザ・チルドレン・ジャパンの目指す社会

世界中の子どもたちが「子どもの権利」を奪われることなく、心もからだも健康に育ち、自身の夢や希望を実現できる社会。そして、世界中の人々、特に子どもが国籍・宗教・年齢・性別・文化に関係なく、互いを認め合い、互いに勇気付ける社会。

## -Mission

私たちは、  
ふたつの「Free」<sup>フリー</sup>の実現を目指します。

1

貧困や児童労働から  
子どもをFreeにする。  
(解放)



2

「子どもは無力だ」という考えから  
子どもをFreeにする。  
(解放)



## -活動内容

上記のビジョン・ミッションを達成するため、私たちは5つの事業を行っています。

### 子ども主体事業

子どもメンバーが意見やアイデアを集め、世界の子どもの権利を守るための事業を自ら企画し活動しています。

### 子ども活動応援事業

日本の子どもたちの「やってみたい」という気持ちを引き出し、国際問題や社会問題を解決するために、実際に行動を起こすことのできる子どもたちを育てます。

### 海外自立支援事業

貧しさが引き起こす世界の子供の厳しい状況を少しずつでも変えていくためにコミュニティの人々が貧困から抜け出し、自立できるよう、支援を行っています。

### アドボカシー事業

全国の学校や企業、イベントなどでスピーチやワークショップなどを行い、世界の子どもたちの現状や、子どもの権利について伝えています。

### ネットワーク事業

「子どもの権利を守る」という同じゴールを目指して活動するグループや団体と協力・連携をして活動しています。

2015 年度がスタートして早々の 4 月下旬、ネパール大地震のニュースが世界中を駆けめぐり、ネパール至史上最悪の 8700 人以上もの死者数が報告されました。フリー・ザ・チルドレン・ジャパンでは、日頃ネパールへの支援は実施していませんが、過去にネパールでの支援活動を検討するため現地調査訪問時に培ったネットワークを活かして、現地の NGO を通じた緊急支援活動を行うことを決定しました。

全国のメンバーやサポーター、協力者の皆さんに呼び掛けたところ、多くの方が募金に協力して下さいました。例えば、熊本グループの皆さんは、熊本で学ぶネパール人留学生と連携し、5 月の大型連休中に連日、募金活動を大々的に行ないました。こうしたたくさんの方のご協力のおかげで、現地民間組織 SEBS と、シーライツ (NPO 法人国際子ども権利センター) を通じて現地 NGO の CWIN への緊急復興事業に協力し、合計で 3000 人以上もの被災したネパールの子どもやコミュニティを支援することができました。

ご協力下さった皆様に改めてお礼申し上げます。

国内事業として、関西圏では初めての「テイク・アクション・キャンプ」を夏休みに開催し、小学 5 年生から高校生までを対象としたリーダーシップトレーニング事業を実施しました。キャンプの実施に向け、大学生や社会人ユースメンバーを対象にファシリテーター育成研修を行い、キャンプの担い手を育てました。更に、彼らにはキャンプだけでなく、キャンプ実施後の学校への出張講演においてもファシリテーターとしてワークショップやスピーチを担当してもらうことができました。

組織運営の変化としては 2015 年 11 月 19 日に臨時総会を開き、事業年度決算時期の変更をしました。今までは 4 月から翌年の 3 月を 1 年としていましたが、1 年の活動を報告する「総会や活動発表交流会」により多くの子どもや若者メンバーに参加してもらうために、2016 年度より 1 月から 12 月を 1 年とし、3 月に総会・活動報告会を開催します。そのため、2015 年度は 3 カ月少ない 9 カ月だけの事業年度となりました。



代表理事 中島早苗

2015 年度の重点課題の一つに挙げていた組織のスタッフの労務環境の改善と体制づくりについては、東京都のワークライフバランス推進助成金を活用して、育児休業中の職員の能力開発と復帰後にスムーズに業務に取り組めるような体制作りや、多様な働き方ができるようスタッフ間で理解を深め在宅勤務環境作りに着手しました。また、職員の介護支援ニーズを調査し、仕事との両立支援制度の整備についても取り組みました。しかし、労務環境の改善については着手したばかりで未だ十分に整っているとはいえない状況のため、2016 年度にも引き続き体制づくりに努めると同時にスタッフ間のコミュニケーションを促進し、多様な働き方が実現できるよう環境を整えていくことで、全てのスタッフが気持ち良く働けるよう努力する所存です。

## もくじ

04	2015 年度を振り返る	12	ネットワーク事業
06	国内事業報告・子ども主体事業	14	海外自立支援事業
08	子ども活動応援事業	19	ご支援・ご協力いただいた企業・団体
10	アドボカシー事業	20	会計・監査報告

## 2015 年度を振り返る

2015 年度ご寄付・募金合計 **10,433,070 円**

たくさんの方々のご支援によって、国内外の子どもたちへの支援を行うことができました。  
みなさまからの温かいご支援、心より感謝申し上げます。

### テイクアクションキャンプ



▲参加者みんなで（日本）

日本のキャンプには中高生 13 名が参加、カナダのキャンプには中高生 7 名が参加しました。

▲自然に囲まれ、心も解放的に（カナダ）

# A LOOK BACK AT 2015

大型台風被害を受けたフィリピンレイテ島オルモック地域で  
小学校を建設するために、国内で 300 万円の  
資金調達を行い、たくさんの方々のご協力により  
無事集めることができました。

▼オルモック地域の子どもたち



### フィリピン



▲心のケアワークショップの様子

ミンダナオ島では、台風被害を受けた地域に住む  
子どもたち対象の心のケアを目的としたワーク  
ショップを行いました。

新規メンバーの登録数：**145 人** 子ども及びユースメンバー合計：**1,469 人**  
(2015 年 12 月末)

イベント出展・スピーカー派遣  
(学校等への出張講演含む)

**41 回** / 参加人数：**5,895 人**

### 出張講演



▲全国各地から講演依頼をいただき、講演やワークショップを行うことができました。

### レッドカードアクション



▲児童労働反対ウォークの後にみんなで  
レッドカード!参加人数 5,779 人  
Facebook の記事を見た人延べ 133,831 人

2015 年 4 月にネパールを襲った大地震を受け、緊急支援として現地パートナー団体を通じて食料支援、医療支援等を行いました。

▼医療支援：メディカルチェックの様子

### ネパール



### インド



▲心のケアワークショップの様子

ミンダナオ島では、台風被害を受けた地域に住む子どもたち対象の心のケアを目的としたワークショップを行いました。



## 国内事業

国内事業では、子どもたちの「やってみたい」という気持ちを引き出し、社会問題を解決するために行動する子どもたちの育成やサポートをするため、4つの事業を展開しています。



## 子ども主体事業

子ども代表委員が中心となり、全ての子どもメンバーが安心して楽しく活動できる環境づくりをめざし、地方と活動チームや、新しいメンバーと活動チームの仲介の活動をするを目的として活動しています。

2015年度子ども代表委員：笹野 千枝里（高校3年生）川島 悠（高校2年生）

### 活動内容

子どもメンバーの活動活性化のためのイベント企画と運営。  
ハロウィンパーティー、ハロウィン募金とその準備を実施しました。



### 代表委員からのコメント

夏頃から活動をはじめ、ハロウィンやクリスマス等季節イベントの企画、チョコレートプロジェクトのミーティングやチョコレート販売に向けてのバックキнгを行いました。私は子どもメンバーとしての活動歴が浅く知識もまだ無かった頃で、初めは右も左も分からなく、戸惑ってばかりでした。



しかし、上手くいかないことや難しいことがあってもメンバーやスタッフの方々が支えて下さり、一生懸命やり遂げることが出来ました。活動を通して、様々な職種、様々な考えを持った方々と関わり、繋がる事が出来ました。これからは児童労働や世界で起こっていることに目を向け、自分からアクションを起こして周りを巻き込んでいきます。

（高校3年生 笹野 千枝里）

はじめはftcjについてほぼ無知だった状態で、この子ども代表委員に立候補させていただきました。まずは団体の行っていることや理念を理解するところから歩み始めました。



現状を踏まえ、もっとメンバー同士の交流を深めようと考え、秋に登録メンバー対象にハロウィンパーティーやミーティングを企画しましたが、あまり参加者を集められませんでした。この反省を今後の活動に活かして、何らかの形で貢献できればと思います。ありがとうございました。

（高校2年生 川島 悠）

子どもに気づきのきっかけを与え、力づける、スキルを身につける機会を提供するこの2つを目的として、日本の子どもたちが国際協力活動に取り組むための環境づくりをしています。

## チーム・グループ活動

フリー・ザ・チルドレン・ジャパンでは、メンバーが自分の特技や好きな事を活かして、国際協力に取り組むチーム活動、学校や地域で仲間を集め、活動しているグループのサポートを行っています。



**チョコレートプロジェクト**

寄付付きチョコレートの販売に向けて冬休みにパッキングを行いました。(東京)



**募金チーム**

ネパール緊急支援のために街頭募金を行いました！(東京)



**Mini Weday チーム**

2017年のイベント開催に向けて、メンバー募集、企画を行っています！(東京)



**熊本ユース**

イベントでドライマンゴーの販売や、フィリピンについて伝えました！(熊本)

**個人での活動**

ダンボールでシーサーを作って販売し、売り上げをインドとフィリピンに寄付しました！(沖縄)



**福岡グループ**

学校で児童労働パネルの展示を行いました。(福岡)



**関西グループ**

ハロウィンに、仮装をしてフィリピン学校建設のために街頭募金を実施しました。(京都)

**FTCJ Kagawa**



パンを作って販売し、売上を世界の子どもたちのために寄付しました！(香川)

## FTCJ ワンダーアカデミー(旧活動ヒント講座)

活動を始めるきっかけを作る FTCJ ワンダーアカデミーを開催しました。季節に合ったテーマを設定、また「ようこそ先輩」と題してこれまで活動していた先輩を迎え経験を話していただく機会を設けました。

これから活動を始めるメンバーと、活動しているメンバーの交流の機会ともなりました。



## テイクアクションキャンプ

in カナダ

8月1日から10日まで、フリー・ザ・チルドレンが行っている、小中高生向けのリーダーシップトレーニングプログラム「テイクアクションキャンプ」に日本の子どもたちが参加できるよう、企画・運営を行いました。

キャンプの参加者は1週間生活をともにし、参加型のワークショップやセミナー、アクティビティを通じて、世界で起きている問題をまなび、解決するために必要なスキルを身に付けます。2015年度は7名の中高生が参加しました。



### 参加者の声

キャンプに参加して友達を作れたことや、いろいろな体験ができとても有意義に過ごすことができました。自分の意見を自由に発言して、ディスカッションが盛り上がっているのを見て、日本でももっとこういった機会があるといいなと思いました。この体験をほかの人に伝えて、活動を広げていきたいです。



高尾 雅代 (中学2年生)

さまざまなバックグラウンドを持った同年代の参加者がいて、驚き、ショックを受けました。しかし、それぞれが自分の過去に向き合い、問題を改善しようとしていたところが印象的でした。友達もたくさんできて、最高のキャンプでした。



小久江 大志 (中学3年生)

## in ジャパン

夏休み期間の8月18日から21日まで奈良県内にて、  
テイクアクションキャンプ in ジャパンを開催しました。

キャンプでは、ワークショップを通じて世界や社会で起きている問題を知り、その解決に向けて自らアクションを起こすためのノウハウを学びます。

2015年度は13名の中高生が参加し、6名のユースメンバー  
がファシリテーターを務めました。

フィリピンからのゲストを迎え、フィリピンの現状を学び、そして『社会を良くするために自分たちにできることって何なんだろう?』とみんなで考え、活発な議論が飛び交いました。



### 参加者の声

小学生からファシリテーターを含めると大学生まで、年齢も住むところも違う参加者だったけど、みんな「何かを変えたい!」という気持ちを持っていました。ワークショップやアクティビティを通して世界のいろんなことを知り、そして日本で起きている問題も学びました。フィリピンのゲストスピーカーのスピーチは、とても衝撃的で、テレビなどで知っていると思っていたけれど、実際にはもっとひどいことがおこっているんだと知りました。キャンプでは、自分の意見を聞いてくれる、そして世界を変えたいと思っている仲間たちと出会い、とても刺激的なキャンプとなりました。(中学生)



## 出張授業・講演会

全国の学校や企業、イベントなどへファシリテーターを派遣し、生徒などの参加者の方々が社会問題を身近に感じ「自分は無力だ」という考えを捨て、「自分にもできる」という自分の可能性に気づくことのできるプログラムを提供しました。また、出張講演に同行するファシリテーターの育成にも取り組みました。



### 2015 年度スピーカー派遣先一覧 (順不同)

#### 小学校：2校

港区筭小学校、川崎大戸小学校

#### 中学校：6校

能勢町立東中学校、町田市立真光寺中学校、山梨英和中学校、世田谷区立桜丘中学校、松原市立松原第三中学校、平楽中学校

#### 高校：15校

栃木県益子芳星高等学校、立命館守山高等学校、立命館宇治高等学校、横浜雙葉高等学校、大阪府立能勢高等学校、大阪府立住吉高等学校、八戸聖ウルスラ学院高等学校、青森県立青森南高等学校、相模女子大学高等部、福島県立相馬高等学校、昭和女子大学付属昭和高等学校、大阪府立西成高等学校、川崎市立橘高等学校、名古屋市立工芸高等学校、横浜サイエンスフロンティア高校

#### 大学・大学院・専門学校：4校

上智大学、法政大学、神戸女学院大学、白百合女子大学

#### その他（団体、イベント等）7カ所

佐野こども未来プロジェクト、兵庫県西宮市立中央公民館、Leela 主催チャリティーイベント Vol.3、フェアトレード学生ネットワーク関東、JICA 大阪、パルシステム東京あおと委員会、グローバルフェスタ、ヒューマンライツナウチャリティーラン

派遣先合計：35カ所  
出張回数 41回  
参加人数合計：5,895人

## フェアトレード商品販売・イベント出店

商品販売では、支援先であるフィリピンのブレダ基金やフィリピンにあるフェアトレードショップ、FTC カナダより仕入れたフェアトレード商品の販売を行っています。2015 年度はイベントやオンラインストアで商品を販売、委託販売も行いました。

イベント出店では、関東のイベントだけでなく、大阪で開催されたイベントにもたくさんの中高生、社会人メンバーが参加し、団体説明やフェアトレード商品の販売を行いました。



←グローバルフェスタ（東京）

↓ワン・ワールドフェスティバル for Youth（大阪）



## 出版・資料開発・SNS



### ▲チャレンジキッズスピーチ発売

フリー・ザ・チルドレン・ジャパンが執筆と編集協力した『チャレンジ! キッズスピーチ』が大月書店より出版されました。



### ▲教材リニューアル

これまで販売・貸出を行っていた児童労働カードゲームのデザインをリニューアルし、価格改訂をしリリースしました。



### LINE@ 導入

中高生への情報発信、広報力を高めるため、LINE@ を導入し活用を始めました。

## 外部ネットワーク事業

外部ネットワークではフリー・ザ・チルドレン・ジャパンのビジョン、ゴールを実現することを目指し、様々なセクター、組織と協働し活動しています。

### 教育協力NGOネットワーク(JNNE)



2015年5月13日、衆議院第2議員会館で6年目となる「国会議員のための世界一大きな授業」を開催しました。当団体のメンバーの高校生が「先生」となり、国会議員19名に対して途上国の子どもの教育をテーマに授業を行いました。

今年は8人の中高生メンバーが集まり、1人は中学2年生の男の子でしたが、四国からインターネットやメールを使いながら、ミーティングや準備を行いました。

「途上国の人たちにとって本当に必要な支援は何か？」を国会議員に伝えるため、メンバーはゲーム等の授業内容を考え、自主的に集まり、授業内

容を考え、メンバーが一人ずつ、それぞれの言葉で、初等教育の大切さと、全ての子どもが学校に通えるようお願いイベント当日はJNNEからはNGOの提言などを伝えました。

また、8月12日には、外務省で、水越 英明国際協力局地球規模課題担当参事官と面会し、日本で「世界一大きな授業」に参加した7万2千463人を代表して、全国から寄せられた児童労働反対に關する3,860通の「首相・外務大臣への手紙」を手渡しました。



### 世界一大きな授業とは？

2003年より、180か国のNGOや教職員によるネットワークが毎年4月に実施しており、世界中の子どもたちが同じ期間に一斉に世界の教育事情について学ぶ「世界一大きな授業」が行なわれています。

### 日比NGOネットワーク

フィリピンのより良い開発支援のための情報交換や、ネットワーク間での話し合い、及び外務省との連携を行いました。前年度に引き続きフィリピンのGGP（草の根・人間の安全保障無償資金協力。在外日本大使館が担当する途上国援助をするためのODAの一つのスキーム）の質的向上のため、外務省に対して提言及び意見交換会で発表を行いました。また、超大型台風復興支援のための支援事業をネットワークとして実施した。その他、日比の子どもやユースが交流しながらフィリピンの貧困問題や日本が抱える課題を共有し、解決に向け若者が主体的に活動する機会を提供するイベントの企画立案を行いました。

## 児童労働ネットワーク (CL-Net)

6月1日-7月13日にかけて「ストップ！児童労働キャンペーン2014」を開催。9年目となる2014年は6月12日の「児童労働反対世界デー」にFIFAサッカーワールドカップが開幕されました。これを受け、児童労働ネットワーク (CL-Net) は、国際労働機関 (ILO) の「児童労働にレッドカード・キャンペーン」に賛同し、カードを掲げて写真を撮る“レッドカードアクション”を呼びかけました。Facebook や Twitter 等の SNS を中心に情報発信をし、Facebook では期間中約 14 万人にリーチし、twitter は学生を中心にリツイートで情報が広まりました。



**教育協力 NGO ネットワーク (JNNE)：**開発途上国の子どもへの教育支援を行っている NGO によるネットワーク。登録団体間での情報交換、勉強会を実施しています。また、外務省との意見交換や政策提言なども行います。世界の全ての子どもの良質な基礎教育提供を目指し、世界の EFA (万人のための教育) 運動とつながって国内でのアドボカシーや政策提言などのキャンペーン活動を行っています。

**日比 NGO ネットワーク (JPN)：**フィリピンでの開発支援活動を行う日本の NGO とフィリピンの NGO によるネットワーク。フォーラムや外務省との懇談会、団体間での情報交換を実施しています。参加しています。賛同団体としてネットワークに参加し、活動を実施。

**児童労働ネットワーク (CL ネット)：**児童労働の廃絶に向け、勉強会、キャンペーンなどを行っています。児童労働問題に取り組む NGO、労働組合、その他非営利組織、個人で構成されている。

## 海外事業

海外支援事業では、フリー・ザ・チルドレン・ジャパンの目的の1つ「貧困や搾取から子どもを解放する」の実現に向け、権利が奪われている開発途上国の子どもたちやその家族を支援しています。

### 事業実施国一覧

## ネパール ..p18

<事業内容>  
大地震緊急支援

## インド ..p17

<事業内容>

- 1.CCD マクタニール養護施設運営事業
- 2.バリンド村保健衛生支援
- 3.ベルダラ村教育支援

# モンゴル

..p18

<事業内容>

図書室設置事業



# フィリピン

..p16



<事業内容>

1. 先住民族の子どもへの教育支援
2. 緊急復興支援
3. 性虐待や刑務所から救出された子ども支援

## 海外自立支援事業

### フィリピン：先住民族の子どもへの教育支援

活動費助成協力：かけはし支援基金



主な  
受益者

ミンダナオ島ディババウオン族の子ども 300 人

対象  
地域

ミンダナオ島

手紙を通じて交流しながら子どもを支援する「文通プログラム」を通して集まった資金とご寄付、助成金を使い、フィリピン・ミンダナオ島の台風被害に遭った先住民族コミュニティに暮らす中等教育を受ける年齢の子どもたちを対象にした通学の奨学金のサポートや台風被害で心に傷を受けた子どもたちの心のケアや病気予防、災害時の対処法などの知識を学ぶことができるワークショップの実施、教育支援物資の支給を実施しました。

### 性虐待や刑務所から出された子どもたちの教育支援

指定寄付やファトレード商品の購入資金によって、フィリピンルソン島オロンガボに位置する現地パートナー団体ブレダ基金を通して、性的虐待・搾取を受けた少女や、路上や刑務所から救出された少年への教育、自立支援を実施しました。

主な  
受益者

ミンダナオ島に住む  
ディババウオン族の子ども 200 人

対象  
地域

ミンダナオ島



#### ブレダ基金 (Preda Foundation Inc) とは？

オロンガボ市にある現地 NGO で、「子どもや女性、貧困層の人々を守る」ことを目的に、1974 年、アイルランド人のシェイ・カレイ神父とフィリピン人のヘルモソ夫妻によって設立されました。性的虐待や刑務所から子どもを保護・支援する活動や、貧困層の自立にむけフェアトレード事業も展開しています。

### 大型台風復興支援

主な  
受益者

被災者 5,449 人

対象  
地域

パナイ島、レイテ島、  
セブ島、サマル島



2013 年 11 月にフィリピンを直撃した台風 30 号「ハイヤン (ヨランダ)」により、甚大な被害を受けた中部のパナイ島、レイテ島、セブ島、サマル島において、緊急復興支援を実施し、現地 NGO や自治体、公立学校などと連携し被災した子どもやその家族を対象に、子どもの心のケアのためのワークショップや、学校再建修繕事業、生計維持支援事業、子どもへの奨学金支援事業を実施しました。

## インド：CCDマクタニール養護施設運営事業



Center for Communication  
and Development (CCD)



マクタニール養護施設で  
生活する子ども 22人



インド 西ベンガル州



手紙を通じて交流しながら子どもを支援する「文通プログラム」を通して集まった資金やその他ご寄付を使い、施設で生活する子どもと CCD が支援する貧困家庭で暮らす子供が学校に通い、栄養ある食事で健康に暮らせるよう支援を行いました。具体的には、学校に通うために必要な制服や文房具、ワークシヨップ教材費や食事の提供、健康医療支援プログラムを実施しました。また、施設では美術や体育などの上層教育を通しより豊かな心身の発達をはぐくんでいます。

## バリンド村自立支援 - 保健衛生支援

寄付協力：JANIC NGO サポート募金

2014年から継続して、子どもの保健衛生向上のために、学校施設敷地内に、トイレと手洗い場を建設・設置しました。また、学校の敷地内にスクールガーデンを設置し、薬草や野菜類などの苗木を植え、学校に通う生徒とその家族がそれらの植物を育て健康のために使えるようなセミナーを行いました。



マクタニール養護施設で  
生活する子ども 22人



インド ラジャスタン州  
ラジャスマンド地方 バリンド村



## ベルダラ村自立支援 - 教育支援

2014年度から継続し、ベルダラ村に小学校の教室建設事業を実施しました。1つの校舎の建設が完了し、小学校学齢期の子ども120人が学校に通えるようになりました。



マクタニール養護施設で  
生活する子ども 22人



インド ラジャスタン州  
ラジャスマンド地方 バリンド村



## モンゴル：図書室設置事業



主な  
受益者  
支援地に住む  
3,000 人の子ども



対象  
地域  
ウランバートル市  
バヤンズルフ地区第 92 号学校



協力者  
モンゴルカルチャーパーク  
アルタン・ウルジー氏  
／学校との連携



2008 年より 5 年間、モンゴルの伝統家屋のゲル図書館を運営し、たくさん子どもたちが本を読んだり、友達と遊んだり、勉強をしたりしに来てくれていましたが、完成より 5 年がたち、ゲルの寿命が来たためこの図書館は 2012 年夏を持って閉鎖されましたが、今後も子どもたちが本を読む機会を提供し続けるために、2014 年 3 月に開設式を行い、2015 年度は運営マニュアルを作成し、運営のサポートを行いました。2015 年を持ちまして、当団体主導の支援を終了することができました。たくさんのご支援ありがとうございました。今後もパートナー団体と連絡を取っていきたいと思います。

## ネパール：緊急支援



主な  
受益者  
被災地に住む  
350 家族



対象  
地域  
ネパール ドラカ村



パートナー  
団体  
SEBS



2015 年 4 月にネパールを襲った大地震を受け、フリー・ザ・チルドレン・ジャパンでは現地パートナー団体の SEBS を通じて、シェルターの設置、食料物資等の提供をしました。

また、医療支援としてメディカルチェックの実施、精神的な外傷を負った子どもへの心のケアを実施、子どもたちの遊びや学びの場の提供、ワークショップの実施も行いました。



# 会計報告

2014年度までは「4月～3月」を事業年度としてきましたが、2015年から事業年度を「1月～12月」に変更しました。

3月から4月にまたがるスタディーツアーやキャンプなどの事業があり、会計業務や事業切り替えをよりスムーズに実施するために2015年11月19日に臨時総会にて承認され決定いたしました。変更後、2015年度は残すところ1か月となったため、予算を12か月から9か月に計算しなおし、事業を推進させていただきました。

今後ともご理解・ご支援の程お願い申し上げます。

## 活動計算書

(単位:円)

科目	予算額		予算額(9ヶ月)	実績額		達成率
	小計	合計		小計	合計	
<b>I 経常収益</b>						
1. 会費・入金金収入						
正会員会費	409,090	493,900	390,900	270,090	279,090	90.0%
2. 寄付金・募金収入	11,692,200	11,692,200	6,781,450	19,433,070	10,433,070	119.1%
3. 事業収入						
自主堂収入	14,100,000	14,100,000	10,375,900	4,944,177	4,944,177	45.9%
4. 助成金・補助金収入						
助成金	5,000,000	5,000,000	3,750,000	3,777,000	3,777,000	100.7%
5. その他収入						
受取利息	3,000			618		
雑収入	39,090	33,900	24,750	3,240	3,694	15.0%
<b>経常収益合計</b>		<b>31,235,290</b>	<b>25,418,400</b>		<b>19,435,111</b>	<b>63.0%</b>
<b>II 経常費用</b>						
1. 事業費						
(1) 人件費						
給料手当	7,134,000		6,350,500	4,993,009		93.3%
法定福利費	595,320		440,496	466,417		104.9%
(2) その他経費						
支払寄付金	5,223,000		3,017,250	3,835,624		100.7%
印刷製本費	445,090		333,750	416,477		125.4%
旅費交通費	10,557,524		7,018,216	3,963,720		50.3%
業務委託費	2,209,090		1,093,900	751,090		44.4%
研修・道徳会費	425,000		318,750	181,000		57.1%
雑金費	60,000		67,500	66,700		131.4%
消耗品費	402,443		301,903	111,751		37.0%
保険料	24,000		18,900	7,017		39.0%
通信運搬費	423,199		317,396	427,020		134.0%
商品材料	400,000		300,000	164,017		54.7%
雑費	29,090		15,900	325,484		2170.0%
委託費	1,281,420		961,905	1,954,585		110.8%
水道光熱費	199,090		142,500	125,644		96.2%
支払手数料	259,090		167,500	133,940		70.9%
租税公費	58,090		42,900	70,000		165.7%
		<b>29,779,832</b>	<b>22,332,898</b>		<b>17,261,327</b>	<b>77.2%</b>
2. 管理費						
(1) 人件費						
給料手当	2,172,000		1,629,000	1,364,473		83.8%
法定福利費	16,390		12,286	0		0.0%
(2) その他経費						
印刷製本費	53,090		39,750	4,815		12.1%
旅費交通費	229,289		169,701	151,199		80.1%
業務委託費	0		0	399,690		399.0%
研修・道徳会費	109,090		75,900	6,700		6.9%
消耗品費	6,099		6,749	0		0.0%
保険料	0		0	0		0.0%
雑金費	0		0	0		0.0%
通信運搬費	25,090		18,750	4,914		28.2%
委託費	258,264		162,213	0		0.0%
水道光熱費	0		0	0		0.0%
支払手数料	530		396	21,632		5416.9%
租税公費	0		0	0		0.0%
雑費	33,411		25,956	0		0.0%
		<b>2,691,871</b>	<b>2,189,903</b>	<b>0</b>	<b>1,963,233</b>	<b>90.1%</b>
<b>経常費用合計</b>		<b>32,471,703</b>	<b>24,522,801</b>		<b>19,224,560</b>	<b>78.4%</b>
<b>経常収支増減額</b>		<b>-1,236,413</b>			<b>229,651</b>	
前期正味財産増減額					69,654	
前期繰越正味財産額					6,597,342	
当期繰越正味財産額					6,827,000	

(注) 別特定非営利等協会の第30条第1項の収支計算書と併せて掲載しております。

(注) 2015年度は会計年度に準じて4月～12月の9か月で収支計算書を作成しております。

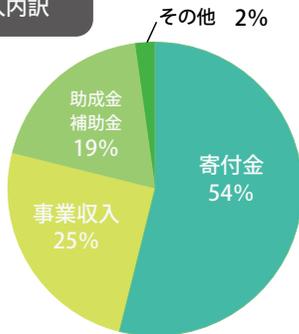
(注) 達成率は9ヶ月分予算と比較して算出しております。

例年1月～3月にかけてスタディーツアーやキャンプイベント、チャロプロジェクトを実施しており、その分収入支出とも減少しておりますが、1月～12月の事業の収入・支出のバランスは良好であったと報告させていただきます。

(単位:円)

科目	子ども主体	子ども活動応援	外部ネットワーク	海外自立支援	アドボカシー	合計
(1)人件費						
給料手当	0	1,026,684	393,279	1,754,545	1,819,461	4,993,969
法定福利費	93,683	93,683	93,684	93,683	93,684	468,417
人件費計	93,683	1,120,367	486,963	1,848,228	1,913,145	5,462,386
(2)その他経費						
支払寄附金	0	0	0	3,936,624	0	3,936,624
印刷製本費	45,749	83,839	43,139	50,670	195,080	418,477
旅費交通費	10,256	3,099,473	36,632	207,285	629,080	3,982,726
業務委託費	0	205,393	0	0	546,507	751,900
研修・施設会場費	22,970	26,090	23,480	24,970	84,450	181,960
諸会費	540	540	85,540	540	1,540	88,700
消耗品費	16,845	25,606	16,845	16,845	35,610	111,751
保険料	0	7,017	0	0	0	7,017
通信運搬費	66,233	128,787	66,233	68,285	97,488	427,026
商品材料	0	0	0	0	164,017	164,017
雑費	8,415	291,834	8,415	8,415	8,415	325,494
地代家賃	212,913	212,913	212,913	212,913	212,913	1,064,565
水道光熱費	25,129	25,129	25,128	25,129	25,129	125,644
支払手数料	23,348	30,230	23,752	29,995	25,615	132,940
租税公課	14,000	14,000	14,000	14,000	14,000	70,000
その他経費計	446,398	4,150,851	556,077	4,595,671	2,039,844	11,788,841
事業費計	540,081	5,271,218	1,043,040	6,443,899	3,952,989	17,251,227

収入内訳

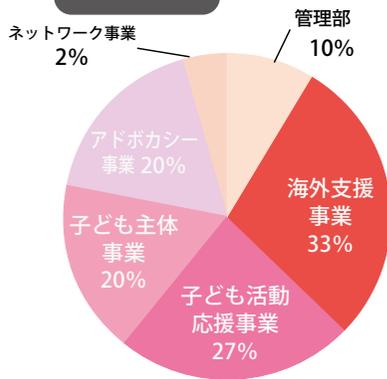


賃借対照表

特定非営利活動法人フリー・ザ・チルドレン・ジャパン (単位:円) 平成27年12月31日現在

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
【流動資産】		【流動負債】	
(現金・預金)		未払金	1,175,012
現金	67,244	預り金	345,806
小口現金	116,795	流動負債計	1,520,818
普通預金	7,040,400	【固定負債の部】	
外貨	181,240	【正味財産】	
現金・預金計	7,405,680	正味財産	6,678,216
(売上債権)		うち当期正味財産増加額	80,854
未収金	0	正味財産計	6,678,216
売上債権計	0	正味財産の部合計	6,678,216
【棚卸資産】			
商品	471,720		
棚卸資産計	471,720		
(その他流動資産)			
流動資産合計	7,877,400		
【固定資産】			
(有形固定資産)			
什器・備品	484,955		
減価償却累計額	△ 275,855		
有形固定資産計	212,100		
(無形固定資産)			
借地権	90,000		
電話加入権	19,530		
無形固定資産計	109,530		
固定資産合計	321,630		
資産の部合計	8,199,030	負債・正味財産の部合計	8,199,030

支出内訳



監査報告書



組織概要

特定非営利活動法人フリー・ザ・チルドレン・ジャパン  
 設立年月: 1999年1月1日

法人格

2004年9月21日東京都より「NPO法人」認証  
 2012年3月16日国税庁より「認定NPO法人」認証  
 法人格: 特定非営利活動法人

事務所所在地

〒157-0062 東京都世田谷区南烏山 6-6-5 3F  
 代表者: 中島早苗

メンバー数: 1,456名、正会員数: 34名

役員・顧問役員: 10名(理事9名、監事1名)、顧問1名

事務局員: 専従スタッフ3名、非専従スタッフ6名、インターン5名、事務局ボランティア5名、翻訳ボランティア30名

役員一覧

理事 中島 早苗 (なかじま さなえ)  
 理事 伴野 保志 (とも の やすし)  
 理事 永野 恵理 (ながの えり)  
 理事 出野 恵子 (いで の けいこ)  
 理事 佐光 紀子 (さこう のりこ)  
 理事 森田 明彦 (もりた あきひこ)  
 理事 浅田 紀子 (あさだ のりこ)  
 理事 室 靖治 (むろ やすじ)  
 ユース理事 志賀 アリカ (しが ありか)  
 監事 宮島 珠 (みやじま たま)

特定非営利活動法人 フリー・ザ・チルドレン・ジャパン

〒157-0062 東京都世田谷区南烏山 6-6-5 3F

TEL : 03-6321-8948 (受付 11 : 00-18 : 00)

FAX:03-6323-6504

info@ftcj.com www.ftcj.com

Supported by  日本 THE NIPPON  
財団 FOUNDATION

★フリー・ザ・チルドレン・ジャパンは、2012年3月16日、国税庁よりの認定NPO法人として認定されました。これにより、当団体に対する皆さまからの寄付・募金は「特定寄附金」とみなされ「寄附金控除」の対象となります。詳しくは団体ホームページをご覧ください。

#### キッズパワーサポーター

継続的なご支援でフリー・ザ・チルドレン・ジャパンの活動を応援してください。月500円からの任意の寄付額を設定していただき、クレジットカードまたは銀行自動引落による毎月（または毎年）定額でご支援になります。

＼お申込みはこちらから／



#### プロジェクト寄付

事業別のプロジェクト寄付、地域をご指定いただく寄付も随時受け付けております。お振込みの際に指定先を明記いただくか、お振込後、事務局（info@ftcj.com）までご連絡ください。



#### LINE@ 始めました。

LINE@では、イベント情報や活動情報をお届けします！QRコードからまたは@ftcjで検索して友達追加おねがいします！



#### クリックで、無料でご支援いただけます！

クリック・シェアで手軽にご支援いただけます。QRコードからアクセスし、1クリックで応援をお願いします！！